お手入れ方法

●日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。

●水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。

●スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残り元に戻らない場合がありますので充分注意してください。

梱包材の処理方法

●梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。

●各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

株式会社サンゲツ
ホームページアドレス http://www.sangetsu.co.jp
〒451-8575 愛知県名古屋市西区幅下1-4-1
TEL 052-564-3111

ロールスクリーン

T型メカ 天窓・傾斜窓用

取扱説明書 No. R－150013　初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

安全上のご注意（必ずお守りください）

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告　製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 注意　製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⃠ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

 警告

- ⃠ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

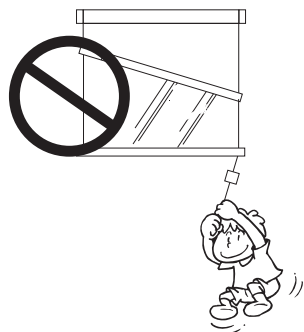
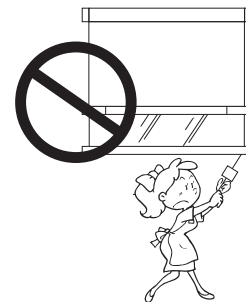
注意

- ⃠ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。
- ⃠ セットバーをつかんで製品を持つのはおやめください。故障の原因となります。

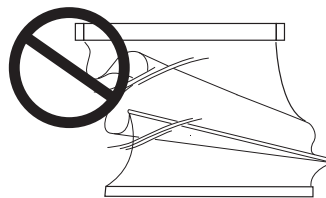
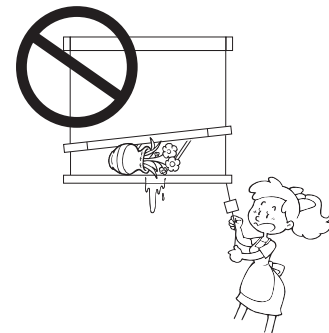
■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

 警告

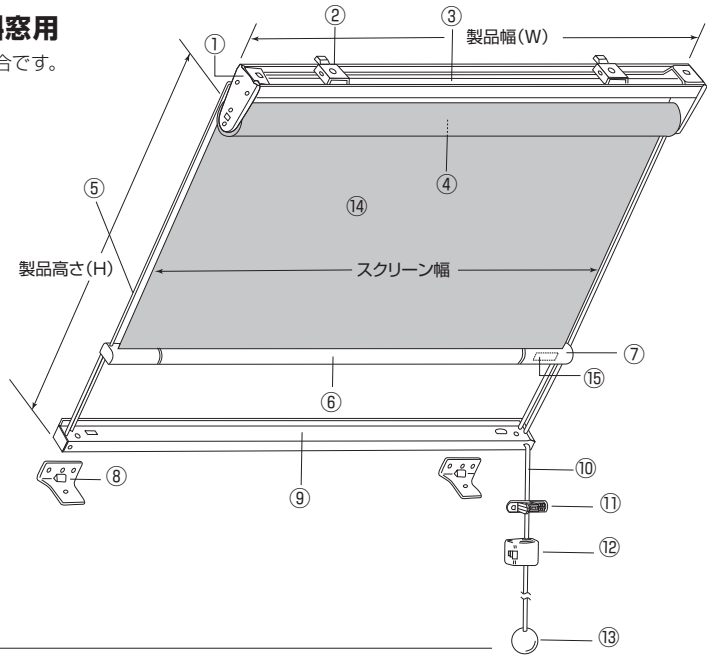
- ⃠ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

- ⃠ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

- ⃠ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。

注意

- ⃠ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻上げた状態にしてください。

- ⃠ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⃠ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- ⃠ 必ず昇降コードを持って操作を行ってください。スクリーンやローラーパイプ、ウエイトバーを持って操作を行わないでください。
- ⃠ 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。
- ❗ 製品は決められた製品高さの範囲でご使用ください。範囲以上でご使用になると、スクリーンの落下、破損の原因になります。

製品全体図及び部品名称

T型メカ 天窓・傾斜窓用

※イラストは天井付けの場合です。

部品名

① サイドホルダーセット	⑤ ガイドワイヤー	⑨ ボトムフレーム	⑬ プルボール
② ブラケット	⑥ ウエイトバー	⑩ 昇降コード	⑭ スクリーン
③ セットバー	⑦ サイドガイドセット	⑪ プーリーガイド	⑮ メンテナンスシール
④ ローラーパイプ	⑧ 正面付プレート	⑫ ストッパー	

■付属部品

部品名 / 製品幅 [mm]	ブラケット	ブラケット仮止め用両面テープ	ブラケット取付けネジ	巻きずれ調整シール	プーリーガイド	横プーリーガイド	出隅用金具	ストッパー	コードエンド
			取付けネジ (ナベφ3.5×16)						
～1000	3個	3枚	3本	1枚	2(4)個	2(4)個	2(4)個	1(2)個	2(2)個
1010～2000	4個	4枚	4本	1枚	2(4)個	2(4)個	2(4)個	1(2)個	2(2)個

部品名 / 製品幅 [mm]	正面付けプレート	ホールキャップ	直付け用ネジ
			取付けネジ (ナベφ3.5×16)
～1000	3個	3個	3本
1010～2000	4個	4個	4本

ワイヤーベース	ワイヤーベース直付けプレート	ワイヤーベース壁面付けプレート
左右各1個	2(4)個	2(4)個
左右各1個	2(4)個	2(4)個

( )の中は、各部品の取付けネジ(ナベφ3.5×16)の入数です。

■製品重量

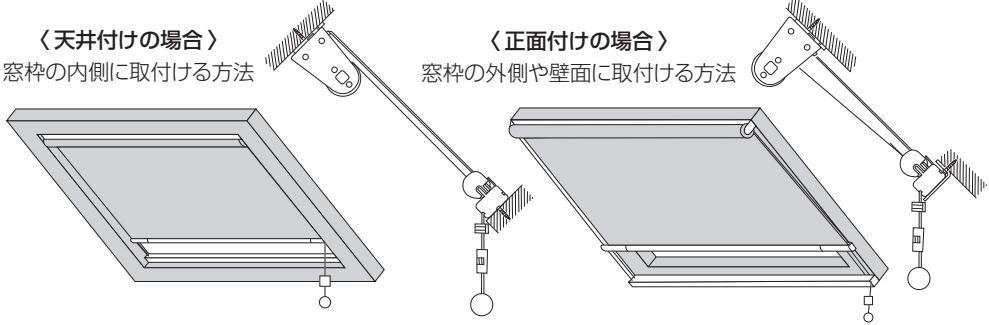
5.0kg(幅2000mm×高さ2000mmの場合)

※ 製品重量は、スクリーン種類によって多少異なります。

製品の取付け/取外し方法

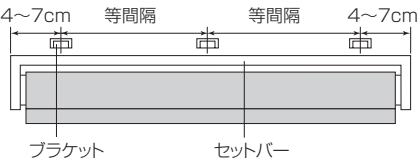
■取付けの種類

〈天井付けの場合〉
窓枠の内側に取付ける方法

〈正面付けの場合〉
窓枠の外側や壁面に取付ける方法

■ブラケットの取付け位置

❶両端のブラケットは、セットバーの両端から各4～7cmの位置に取付けてください。

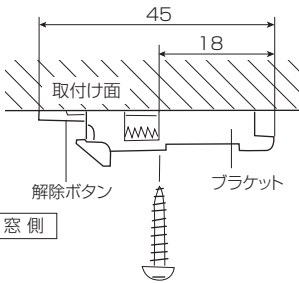
❷その他のブラケットは、その間が等間隔になるよう取付けてください。

※付属の仮止めテープを使用するとブラケットの仮止めができます。

■ブラケットの取付け方法

〈天井付けの場合〉

● 解除ボタンが窓側(奥)になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

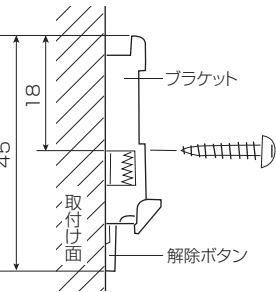
※ ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。右図はブラケットの穴の中心までの寸法図です。

〈天井付けの場合〉

〈正面付けの場合〉

● 解除ボタンが下側になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

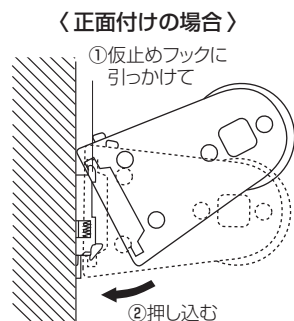
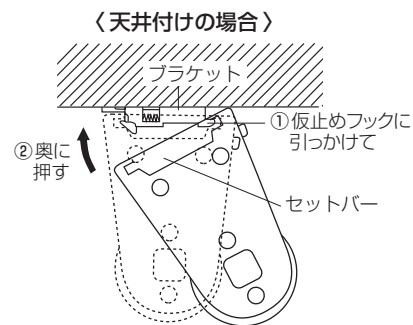
※ ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。

〈正面付けの場合〉

18
45
ブラケット
取付け面
解除ボタン

■ セットバーの取付け方法

●セットバーの内溝をブラケットの 仮止めフックに引っかけてください。(①) 本体を奥に『カチッ』と音 が するまで 押し上げてください。(②)

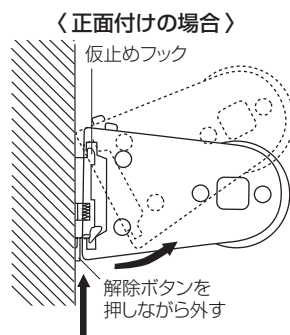
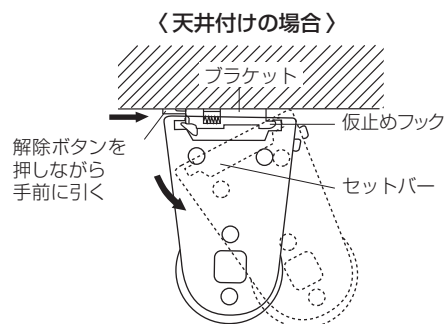
⚠ 注意

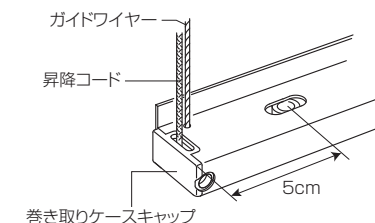
❗ 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されていることをご確認ください。

■ セットバーの取外し方法

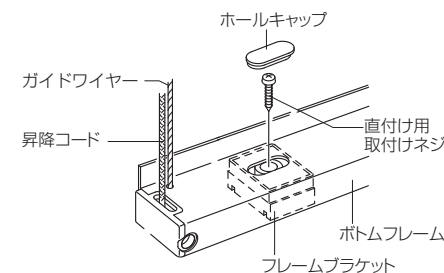
❶スクリーンを巻き上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながらセットバーを手前に引いてください。

❷本体を仮止めフックから外してください。

⚠ 注意

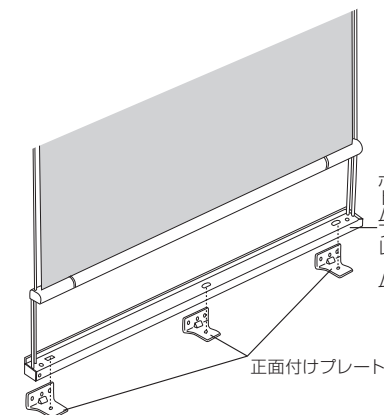
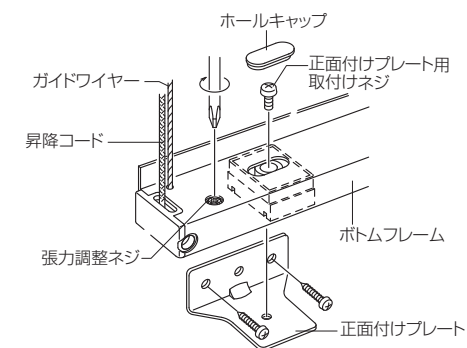
❗ ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

■ ボトムフレームの取付け方法

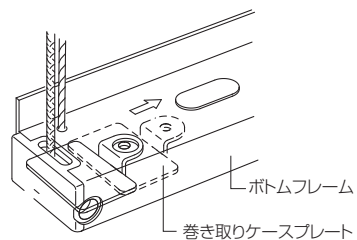
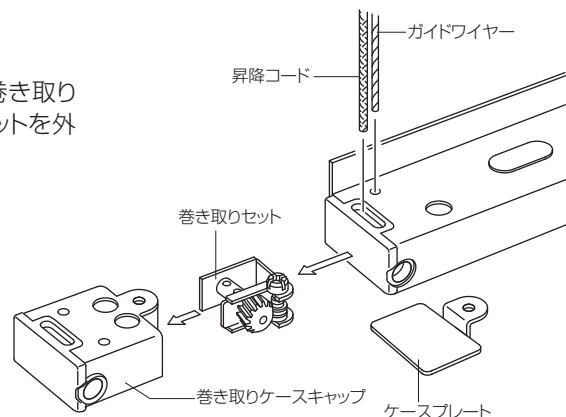
※出荷時はボトムフレームが付いていますが、ボトムフレームの取付け穴位置は、巻き取りケースキャップの端から長穴の中心まで5cmの位置にあります。取付け位置を5cmより外側にしたい場合は、P.8「ワイヤーベースを使用する場合の取付け方法」を参照に、ワイヤーベースを使用してください。

〈天井付けの場合〉

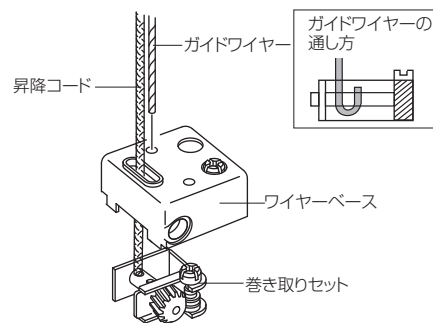
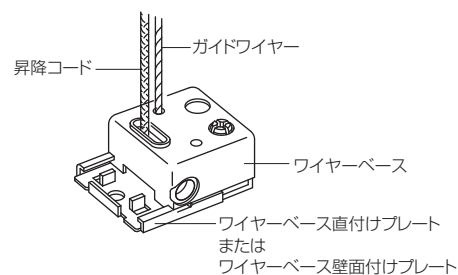
ボトムフレーム内のフレームブラケットを直付け用取付けネジで取付け、ホールキャップをかぶせてください。

〈正面付けの場合〉

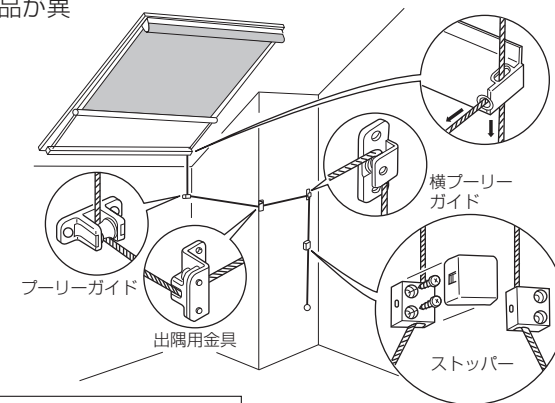
❶正面付けプレートを、ボトムフレームの長穴の位置と合わせるよう取付けてください。

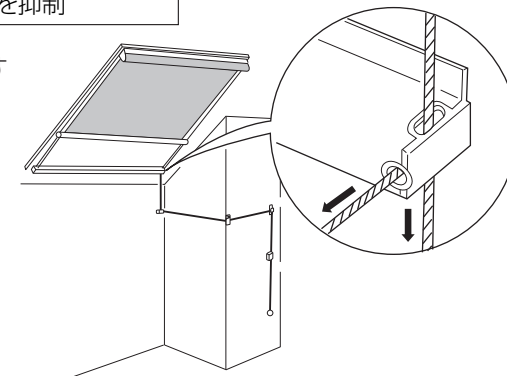
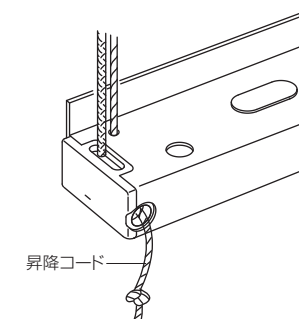
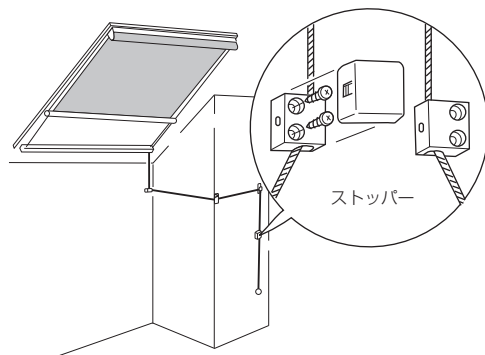
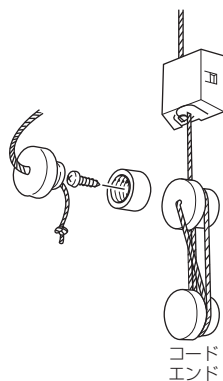
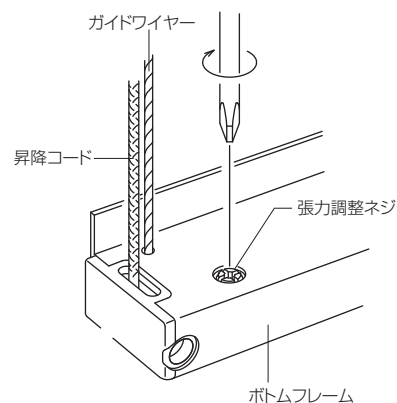
※正面付けプレートは、ビス穴が3つありますが必ず2点以上で水平に取付けてください。

※正面付けプレートを取付ける際、付属のワイヤーベース直付けプレート及びワイヤーベース壁面付けプレートに同梱してある取付けネジ(ナベφ3.5×16)をご使用ください。

❷正面付けプレート用取付けネジでフレームブラケットと、正面付けプレートを固定し、ホールキャップをかぶせてください。

■ワイヤーベースを使用する場合の取付け方法

❶ボトムフレーム裏側の巻き取りケースプレートの固定ネジをはずし、内側へスライドしてください。

❷ガイドワイヤー、昇降コードを取外し、巻き取りケースキャップを取り出し、巻き取りセットを外してください。

❸付属のワイヤーベースに、ガイドワイヤーを通した、巻き取りセットと昇降コードを付けかえてください。

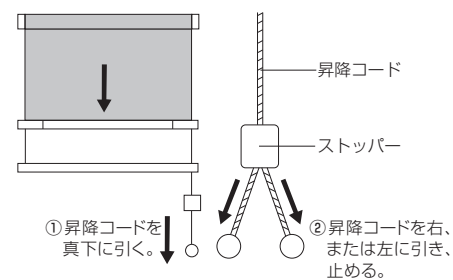
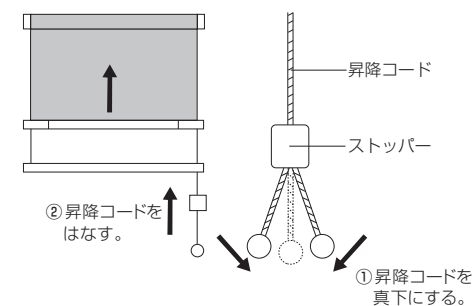
※ワイヤーベースには、左右があります。右の図で確認してください。

❹ワイヤーベース直付けプレートまたは、壁面付けプレートを窓枠等に取付け、ワイヤーベースをスライドし、設置してください。

■ストッパーの取付け方法

※取付け場所によって、使用する付属部品が異なります。

部品名	用途
プーリーガイド	奥行き方向への昇降コードの取り回し
横プーリーガイド	水平方向への昇降コードの取り回し
出隅用金具	出隅などへの昇降コードの取り回し
ストッパー	スクリーン開閉の停止部品
コードエンド	昇降コードのぶらつきを抑制

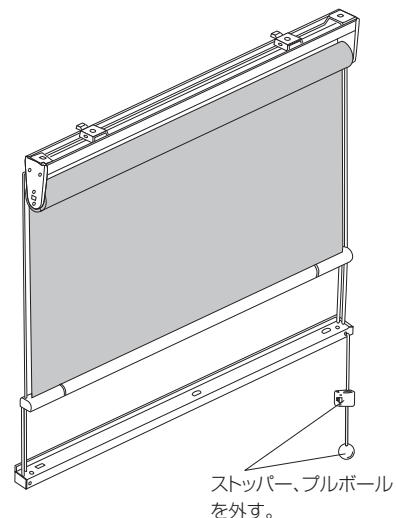
●昇降コードは、ボトムフレームから操作しやすい方向に出してください。

●操作側でない昇降コードは、結び目をつくり固定してください。

●ストッパーは、溝がある方を下に取付けてください。
※ストッパーは、左右どちら操作でも使用できます。

●コードエンドは、昇降コードをきれいにまとめることができます。
※出荷時は、プルボールがついています。

■ガイドワイヤーの張力調整方法
●張力調整ネジを回して適度の張力に調整してください。
※回しすぎると故障の原因になりますので注意してください。

操作方法

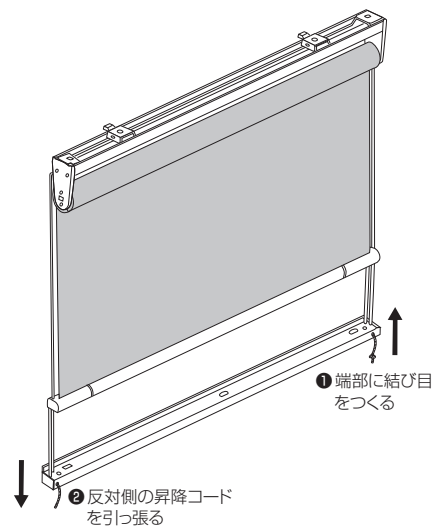
注意

操作はプルボールを手で持って垂直に行ってください。

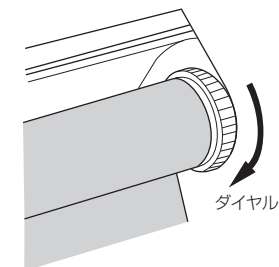
■スクリーンの降ろし方
●コードを引くと閉じます。(①)
停止はコードを右または左に引き(②)、ストッパーのミゾで止めてください。

■スクリーンの上げ方
●昇降コードを真下にし(①)、離す(②)と開きます。

操作位置の変更方法

● 以下の手順で左操作を右操作に、右操作を左操作に、操作位置を変更することができます。

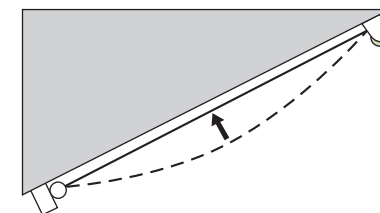
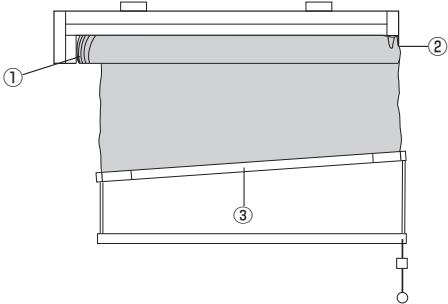
❶ 昇降コードに取付けてあるプルボール、その他付属部品を取外してください。

❷ 昇降コードの端部に結び目をつくり、反対側の昇降コードを引き出してください。

❸ P.9を参照に、付属品を取付けてください。

スクリーンのたるみ調整方法

● テンションにより、スクリーンを閉じた時のたるみを最少限にできます。

❶ 取付け完了後、スクリーンを完全に閉じ、ストッパーで止めます。

❷ パイプ右側のダイヤルを回すとスクリーンの張りが強くなります。

注意

スクリーンの自重により、たるみは完全にはなくなりません。ダイヤルを無理に回し過ぎると故障の原因になりますのでご注意ください。

スクリーン巻きずれ対処方法

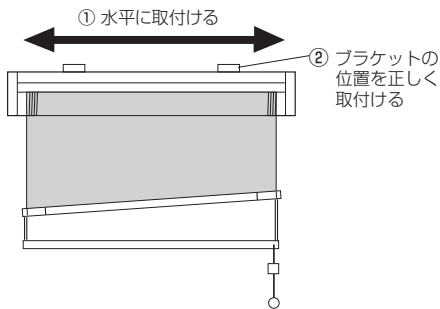
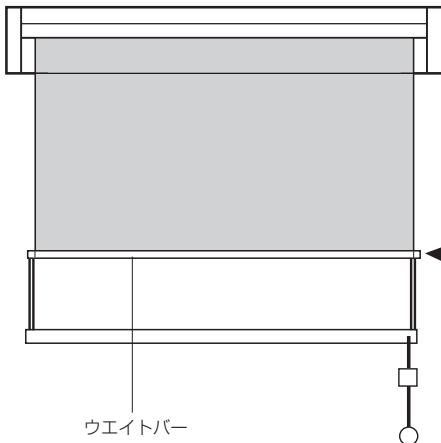
●スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったり、スクリーンが破損（しわ、やぶれ等）する恐れがあります。出荷時に、調整をしてありますが、取付け場所の関係等により、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

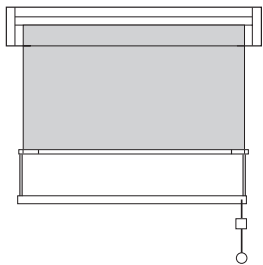
〈スクリーンが巻きずれた状態とは？〉

①スクリーンが「竹の子」状になる。
②スクリーンがサイドホルダーセットに当たる。
③ウエイトバーが左右均等（水平）にならない。

■ 巻きずれの補正方法

❶まず製品が正しい状態になっているか確認します。

①製品が水平に取付けられているか？
②ブラケットが正しい位置に付いているか？

❷プルボールを垂直に引いて、いったんスクリーンを下まで引き出して止め、スクリーンを巻き上げてください。

❸❷ の昇降操作を2～3回くり返してください。それでも巻きずれが直らない場合は、付属の巻きずれ調整シールを使って巻きずれを直してください。

※ 巻きずれ調整シールの使用方法は、調整シールの裏面をご覧ください。

メンテナンスシール

●お買い上げの製品には、ウエイトバー右裏側に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。

交換用スクリーンの発注方法

●交換スクリーン（別売）でスクリーンを交換することができます。下記の手順でご発注ください。

❶ウエイトバー右裏側にメンテナンスシールが貼ってあります。（P.15参照）

❷ 機種名、色柄品番、製品サイズ（製品幅×製品高さ）をお申しつけください。

“故障かなと思ったら”

■こんなとき

現　象	原　因	処　置
●スクリーンがたるんだ状態になっている。	➡ スクリーンのテンションが弱くなっていると思われます。	●P.13『スクリーンたるみの調整方法』をご覧ください。
●スクリーンが巻き上がる際にサイドホルダーセットにあたってしまう。（巻きずれてしまう。）	➡ 製品が水平に取付いていない。 ブラケットが正しい位置に付いていない。	●P.14『スクリーン巻きずれ対処方法』をご覧ください。